



校長室より



令和 7 年 1 月 8 日

No.28

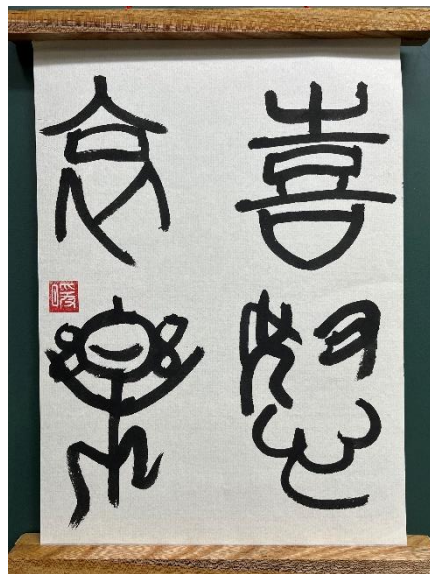
自分らしく生きる 豊かに生きる

新年あけましておめでとうございます。昨年のお正月は能登半島地震につらい思いを感じ、不安からスタートした一年でしたが、今年は穏やかな天気で、各地で初日の出を見られた方も多かったのではないのでしょうか。

昨年末に、嬉しいお知らせが飛び込んできました。高等部 3 年生徒の書道作品、「喜怒哀楽」が、第 31 回全国特別支援学校文化祭で、全国特別支援学校病弱教育校長会会長賞に選ばれました。選択書道で磨き上げた腕前が最後に花を咲かせました。努力は裏切りませんね。後輩たちの励みになると思います。

1 月 8 日（水）、3 学期の始業式を行いました。その中で、みんなが幸せになる話として、当たり前のこと感謝するという話をさせていただきました。特別なことだけに感謝する人は、いつまでたっても感謝の習慣を身につけることができません。ちょっとしたことにも「ありがとう」って言葉に出して伝えられる人は、感謝することの習慣ができていますね。よく感謝する人には、良い出会いも、良い仕事も、良いチャンスも巡ってきます。私たちは、コロナ禍中では、毎日学校に行くことに制限を受けたり、友達と話をしたり遊んだりすることもできない状況に置かれた体験をしています。去年は地震や豪雨で能登の人たちは、住み慣れた家や家族を失った方もいました。世界を見渡せば、ウクライナやパレスチナでは紛争が続き、食事也十分にとれない人たちも多くいます。あらためて、当たり前のこと感謝する、「ありがとう」を交わせるみはま支援学校であってほしいと思います。

今日から 3 学期、高等部 3 年生にとっては、卒業までのカウントダウンが始まります。在校生にとっても、大切な学年のまとめの時期になります。インフルエンザなど感染症が流行していますので、健康には留意して、充実した気持ちで締めくくれるよう頑張してほしいと思います。



高等部選択書道作品「喜怒哀楽」



高等部ものづくり工芸班作品